

## 2012 年度資源地質学会若手研究委員会のご案内

2012 年度資源地質学会研究委員会として、資源地質学会若手研究委員会（通称、若手会）が評議員会で承認されました。本委員会の代表者を務めさせていただきます産業技術総合研究所の実松健造です。

本委員会は 2009 年度より毎年承認して頂いており、資源地質学会の若手会員間の交流の促進、資源地質学会の活性化への貢献を目的として活動を続けております。具体的な活動内容としては、資源地質学会年会期間中に会合を開き、年度内の活動方針を決定しております。若手会員を主体とする巡検を企画、実施しております。また、他の学会年会の機会なども利用して、若手会員の就職などに関する情報交換や資源地質学会の活性化のための議論の場を持つように努めております。

本委員会への入会自体には費用は一切かからず、厳密な年齢制限は設けておりませんので、新たに入会ご希望の方（および新年度になって所属が変わった方）は氏名、所属、連絡用メールアドレス記載の上、実松と上條までご連絡頂ければ幸いです。

実松健造: k-sanematsu"アット"aist.go.jp

上條裕久(名簿担当): kamijo-hirohisa"アット"jogmec.go.jp

(実際の送信では"アット"を@としてお送り下さい)

以上、よろしく願いいたします。最後に、今までに行われた若手会巡検のご紹介を簡単に致します。

### 2009 年度資源地質学会若手会巡検報告

「宮崎県榎峰鉱床の別子型鉍化作用と延岡衝上断層による流体移動」

実施日：平成 21 年 10 月 10 日（土）～12 日（月）

案内者：野崎達生（JAMSTEC・IFREE）、山口飛鳥（高知大・理）、初谷和則（日鉄鉍業）

参加者：荒井優祐，一戸充雄，上杉次郎，岡上祥典，後藤直宏，実松健造，壽柳雄介，新郷佑樹，関根亮太，田中崇裕，西村誠次，別府裕樹，松岡一英，三谷明日華，村田圭佑，米津幸太郎

本年度より開始された資源地質学会若手会巡検は、「宮崎県榎峰鉱床の別子型鉍化作用と延岡衝上断層による流体移動」というテーマで、野崎達生氏，山口飛鳥氏，初谷和則氏の案内で、平成 21 年 10 月 10 日（土）～12 日（月）に行われた。募集定員を上回る 16 名が参加し、晴天にも恵まれ、無事終了した。内容は、榎峰鉱床の別子型鉍化作用，高千穂地域

の火山岩，延岡の衝上断層の巡検と，宮崎大学延岡フィールドにおけるレクチャーであった．地質・鉱床の概要などについては，資源情報として野崎ほか (2010) および山口ほか (2010) により解説してある．本講習会にご配慮ご尽力ご案内を頂いた野崎達生氏，山口飛鳥氏，初谷和則氏，住友金属鉱山 (株) の皆様，九州大学の皆様，宮崎大学延岡フィールドの皆様に深謝いたします．



写真1 延岡衝上断層における集合写真



写真2 宮崎大学延岡フィールドにおけるレクチャーの様子

## 文献

野崎達生・初谷和則・山口飛鳥 (2010) 2009 年度資源地質若手会秋季巡検 宮崎県檜峰地域における別子型塊状硫化物鉱床の観察．資源地質，60 巻，3 号，239-243.

山口飛鳥・野崎達生・初谷和則 (2010) 2009 年度資源地質若手会秋季巡検 四万十帯延岡衝上断層に見る沈み込み帯の変形と流体移動. 資源地質, 60 巻, 3 号, 245-248.

## 2010 年度資源地質学会若手会巡検報告

「岩手県釜石鉱山のスカルン化・鉱化作用の観察」

実施日：平成 22 年 10 月 21 日 (木) ～23 日 (土)

案内者：高谷雄太郎 (東大・工), 野崎達生 (JAMSTEC・IFREE)

参加者：清水連太郎, 宿輪隆太, 田中崇裕, 初谷和則, 松本尚巳, 三谷明日華, 安永健太郎, 米津幸太郎

本年度の資源地質学会若手会巡検は「岩手県釜石鉱山のスカルン化・鉱化作用の観察」というテーマで, 高谷雄太郎氏, 野崎達生氏の案内で, 平成 22 年 10 月 21 日 (木) ～23 日 (土) に行われた. 本巡検には合計 10 名が参加し, 晴天にも恵まれ, 無事終了した. 内容は釜石鉱山周辺地域の地質・鉱床生成に関するレクチャーと釜石鉱山・新山鉱床におけるスカルン化・鉱化作用の観察, 旧釜石鉱山事務所および日本近代製鉄発祥の地である大橋高炉跡, 橋野高炉跡, 釜石市立鉄の歴史館の訪問であった. 地質・鉱床の概要などについては, 案内者より資源情報として高谷・野崎 (2011) に解説してある. 本巡検の企画・運営にご尽力を頂いた高谷雄太郎氏, 野崎達生氏および, 坑道内の案内に際して大変なご配慮ご尽力を頂いた釜石鉱山 (株) の太田学様, 小原京蔵様, 中村直昭様, 同 OB の梅原東民様に深く感謝いたします.



写真 1 釜石鉱山・新山鉱床 350 mL 坑口における集合写真



写真2 巡検の様子 (釜石鉱山・新山鉱床 450 mL, 4D 鉱体)

## 文献

高谷雄太郎・野崎達生 (2011) 2010 年度資源地質学若手会秋季巡検－岩手県釜石鉱山のスカ  
ルン化作用・鉱化作用の観察－. 資源地質, 61 巻, 3 号, 249-254.

## 2011 年度資源地質学会若手会巡検報告

「秋田県北鹿地域の黒鉱鉱化作用および周辺層序の観察」

実施日：平成 23 年 09 月 22 日 (木) ～24 日 (土)

案内者：山田亮一・長谷川樹・大竹翼 (東北大・理), 野崎達生 (JAMSTEC・IFREE)

参加者：相原悠平, 石原裕士, 五十公野裕也, 柏原輝彦, 上久保寛, 実松健造, 宿輪隆太,  
菅琢磨, 高橋亮平, 田中崇裕, 西澤学, 西田雅博, 初谷和則, 稗田裕樹, 本間勇介, 山岡  
香子, 横路悠, 渡邊翔太, 渡辺拓, 渡部龍太郎, Thomas D. Tindell

本年度の資源地質学会若手会巡検は「秋田県北鹿地域の黒鉱鉱化作用および周辺層序の  
観察」というテーマで, 山田亮一氏, 長谷川樹氏, 大竹翼氏・野崎達生氏の案内で, 平成  
23 年 09 月 22 日 (木) ～24 日 (土) に行われた。本巡検には合計 25 名が参加し, 曇天が続  
いたものの, 無事終了した。内容は, 北鹿地域黒鉱鉱床の地質・鉱床生成に関するレクチ  
ャー, 観音堂鉱床に観察される球状黄鉄鉱の成因に関するレクチャーおよび小坂元山鉱床,  
観音堂鉱床の観察, 松峰鉱床試料室の標本観察, 日本海拡大と黒鉱鉱床生成に関する一連  
の地質・層序観察であった。地質・鉱床の概要などについては, 案内者より資源情報とし  
て資源地質 62 巻 3 号に報告予定である。本巡検の企画・運営にご尽力を頂いた山田亮一氏,  
長谷川樹氏, 大竹翼氏, 野崎達生氏および, 小坂元山鉱床・松峰鉱床試料室の案内に際し

て大変なご配慮ご尽力を頂いた同和メタルマイン (株) の須山俊明様, 小坂製錬 (株) の木下博様, 卯根倉鉱業 (株) 宮本博様に深く感謝いたします.



写真1 バイモータル火成活動が観察される露頭前にて集合写真



写真2 小坂元山鉱床での巡検の様子